

外国語	課題分析	授業改善案等	改善状況
1年	<p>【知識・技能の定着】 現段階で生徒の習熟度に差が見られる。そしてその差が大きい。</p> <p>【思考・判断・表現】 テーマに応じた英作文は、文法が定着していない生徒も、英作文に不完全さがあるものの頑張っている。</p>	<p>【知能・技能の定着】 定期的に復習の時間を設けたり、単語テストを行い定着を図る。</p> <p>【思考・判断・表現】 テーマの提示の仕方を工夫することで、課題に取り組みやすくする。ペアワークやグループワークを通じて助け合い、習熟度の差を埋める。</p>	
2年	<p>【知識・技能の定着】 1年次に学習した文法の基礎・基本が定着していないため、知識を活用する技能が身に付いていない生徒がいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・場面やテーマに応じた内容を英作文で表現する際に必要な文章校正力が十分に身に付いていない。生徒の書く力をより伸ばすための取り組みが必要である。</p>	<p>【知識・技能の定着】 毎時間の単語・文法の帯活動を継続する。基礎・基本の小テストを定期的実施し、生徒の実態を把握して個別に支援する。教科書本文に既習文法の文がある際の意味・構造の再確認と、新出文法を学習する際の関連文法の復習を欠かさず行うようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文型や語順に注目して文を書く練習を積み重ね、書ける英文のパターンを増やす。単元ごとにまとめた英文を書く取り組みを継続し、学力向上支援講師やALTと連携して細やかな指導を行う。課題やテスト等、実践の機会を増やしていく。</p>	
3年	<p>【知識・技能の定着】 3年間の知識が整理できておらず、既習文法や単語の定着がまだ不十分な生徒がいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 学んだ知識を自己表現をする際に活用できずにいる生徒が多くいる。知識のための英語ではなく、表現するための英語であることを、生徒自身に実感をもたせることが必要である。</p>	<p>【知識・技能の定着】 単元ごとの単語テスト、振り返りシートの記入を行い、自分の課題を可視化することで、定着を図る。</p> <p>【思考・判断・表現】 文法を学ぶ際は、なぜその表現を使用するのか適切な場面を考えさせる、単語や熟語は、例文の中で覚えるなど、場面と状況を一緒に扱うようにする。また、プレゼンテーション活動を通して、知識を統合的に活用する機会を増やしていく。</p>	